



保育所だより



あけましておめでとうございます
本年もよろしくお祈りします

今年は何年です！



新年を迎え、子ども達の元気な声が所舎に響いています。今年も子ども達が元気いっぱい保育所生活を楽しめるようにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。登所してきた子ども達からは、「おもちゃを食べた。」「おばあちゃんの家でカルタをしたよ。」など、お正月の様子が次々と聞かれ、ご家族で楽しく過ごされたことが伝わってきました。

さて今月は、いろいろな正月遊びを友だちや保育士と一緒に楽しみ、関わりを深めていきたいと考えています。また、年末には雪が降りました。雪や霜・氷など、冬の自然の美しさや不思議さを感じ、触れて遊ぶ楽しさが味わえるようにと思っています。

これから風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎など流行する時期です。引き続き手洗いやうがいをして予防に努めると共に、生活リズムを整えて元気な体作りをしていきたいと思ひます。ご家庭でもご協力をよろしくお祈りします。

○保育目標～冬ならではの遊びを楽しもう 正月遊びを楽しもう

冬の自然に興味を持ち、雪の感触を確かめたり、水が凍る様子を見つたりします。不思議さに気づき、絵本や図鑑を使って調べたいと思ひます。

こま回し、凧揚げ、羽根つき、カルタ、福笑い、すごろく、けん玉などこの時期ならではの遊びを繰り返し遊び、自分でやり方を考えたり試したりして楽しみます。また、身近な文字や数字に関心が持てるようにします。

○生活目標～生活リズムを整えよう

お正月休みは生活リズムが崩れがちになります。『早寝・早起き・朝ご飯』の時間と『子どもに合わせた夕食・テレビを消す時間』の目安を決めることが大切です。元気に過ごせるよう、多少ずれても毎日の積み重ねで夜は9時には布団に入る習慣をつけるようにしましょう。



お知らせ・お祈り

○新年お茶会について（7日）

ぞう組がお抹茶をいただきます。地域の方に、作法を教えてくださいながら心穏やかな時を過ごしたいと思ひます。

○<ふれあいデー>とんどさんについて（13日）

ふれあい会員の皆様と一緒に伝統行事を楽しみます。家庭で飾られたしめ縄をお持ち出してください。

○面談について（5歳児17日～28日 4歳児24日～28日）

保育所での様子についてお話したり、ご家庭でのお子さんの暮らし等について伺ったりします。修了、進級までの毎日がより充実するようと思ひています。ご協力をお願いします。

○すもう大会について（17日～21日）

ぞう組・きりん組・くま組がすもう大会をします。取り組みの後、最終日（21日）に表彰します。

○土曜共同保育について（29日）

29日の土曜共同保育は、当所にて行います。よろしくお祈りいたします。



*ご寄贈ありがとうございました
大根・白菜・カブ・赤カブ～ 保護者様

*伊藤唯奈保育士が復帰し、うさぎ組を担当します。山根菜央保育士はひよこ組を担当します。
*石原紗智子調理師は12/28に無事に出産いたしました。引き続き育休をとります。
*勝部美歩保育士は1/18から産前休業に入ります。よろしくお祈りします。

1月の行事予定

- 1日（土）元旦（祝日）
- 2日（日）～4日（火）年始休所
- 5日（水）保育開始 おあつまり会
" 身体測定週
- 6日（木）剣道教室（15:30～5歳児）
- 7日（金）新年お茶会（5歳児）
- 10日（月）成人の日（祝日）
- 13日（木）<ふれあいデー>とんどさん
" 保育所開放日
- 14日（金）誕生会
- 17日（月）すもう大会（3.4.5歳児）～21日
" 5歳児個人面談～28日
- 20日（木）一日保育士（2歳児以下③）
" 集金日
- 24日（月）4歳児個人面談～28日
- 25日（火）避難訓練（火災）
- 26日（水）一日保育士（2歳児以下④）
- 27日（木）弁当の日
- 28日（金）布団持ち帰り



2月の主な行事

- 4日（金）<ふれあいデー>
もちつき・お礼の会

ほっとルーム 未来をひらこう

これからの時代は社会状況だけでなく、自然災害・気候変動なども含めて、世界中が予測困難で不確実で複雑、そして曖昧な時代になる、またはもうすでにその時代に入っていると様々な分野の研究からいわれています。今の乳幼児が大人になり社会で活躍するころは、今の大人たちが想像することもできない変化が起こっていることでしょう。

このような何が起ころかわからない時代を生き抜くためには、強さや賢さよりも、しなやかな考え方のできる人が求められます。一つの答えをもったら安心ということではなく、臨機応変に状況判断をして、そのときどきに応じた答え（最適解）が出せる力をもつということです。（中略）

日本の保育も教育も子育て観も、大きく変化すべきときが今だと感じます。長年の保育者経験からいえる確かなことがあります。それは、ありのままを受け止める大人（親とは限らない）に出会った乳幼児は、しなやかな発想ができて、他者への思いやりにすぐれ、困ったことが起こると自分でできるところまでがんばってみて、それでもできないと判断すると友達や近くにいる人に助けを求めて解決につなげていくということです。

一部抜粋「新型コロナウイルスでクリアになった～未来をひらく家庭支援・保護者との関わりワークブック」

非営利団体コドモノミカタ代表理事 井桁容子著

受け止めてもらった経験や、心の安全基地がある子どもはどのような時代が来ても、自分で自分を育てていくのだと思ひます。植物は、根っこさえ枯れなければいつか芽を出して花を咲かせたり実を結んだりします。人の心にも花が咲きます。そして枯れてしまうこともあります。そんな時でも、根だけは枯れないよう、今の乳幼児期に土（安心感）を耕したり、肥やし（やすらぎ）をあげたりする積み重ねが大切です。

絵本、食事、お風呂、散歩など、短時間でも親子一緒にほっとできる時間を共有することが、やすらぎにつながります。自分は大切な存在である、苦手なことも含めてありのままの自分で良いと思える自信を育み、未来をひらきましょう。

職員出張のお知らせ

※印は午後の研修
◎印はweb研修（配信日に受講）

- ◎ キャリアアップ研修（乳児保育） 黒田
- 17日 ※発達障がい研修 黒田他4名
- 27日 ※平田中校区拡大総務部会 竹内
- 28日 ※人材育成委員会研修 多々納

